

FREQROL-A500 (L) シリーズから FREQROL-A800
シリーズへの置換え資料 (375K, 450K)

置換えに関する寸法、結線、パラメータ、オプションについて次頁以降に記します。

1. 置換え用インバータ

315K～500K の FREQROL-A800 シリーズは、インバータユニット (FR-A842) とコンバータユニット (FR-CC2) からなるコンバータ分離タイプとなります。

FREQROL-A800 シリーズでは、本体仕様として FM タイプと CA タイプがあります。

国内仕様の FREQROL-A500L シリーズを置換える場合、FM タイプ (FREQROL-A842-□□□K-1) を選択してください。

また、FREQROL-A500L シリーズから FREQROL-A800 シリーズへ置き換える場合、一部 FREQROL-A800 シリーズで対応していない機能があります。対応していない機能については、4.2 を参照してください。

2. 寸法

FREQROL-A500L シリーズから FREQROL-A800 シリーズへ置き換える場合、315K 以上では取付け寸法が異なっています。

詳細の寸法につきましては、次ページ以降の外形寸法図をご参照願います。

既設インバータ	置換えインバータ	取付け寸法
FR-A540L-375K	FR-A842-355K + FR-CC2-H355K (※)	寸法異なる
	FR-A842-400K + FR-CC2-H400K (※)	
FR-A540L-450K	FR-A842-450K + FR-CC2-H450K	

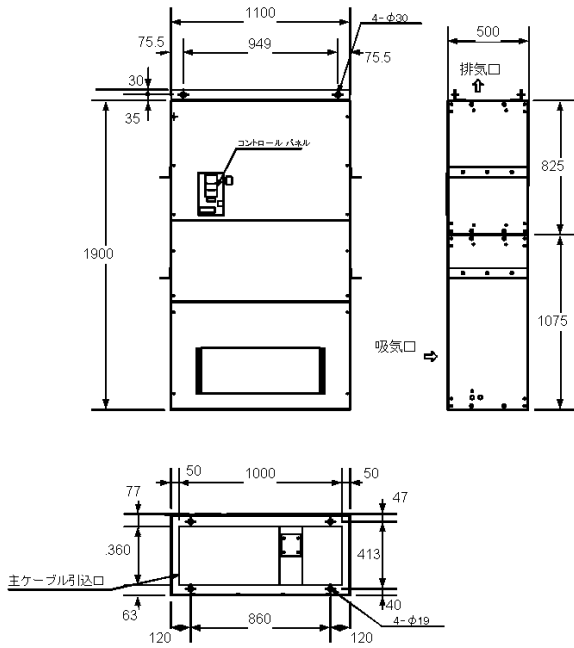
※駆動するモータの容量に応じて選定してください。

その際、インバータ定格電流の影響も確認してください。

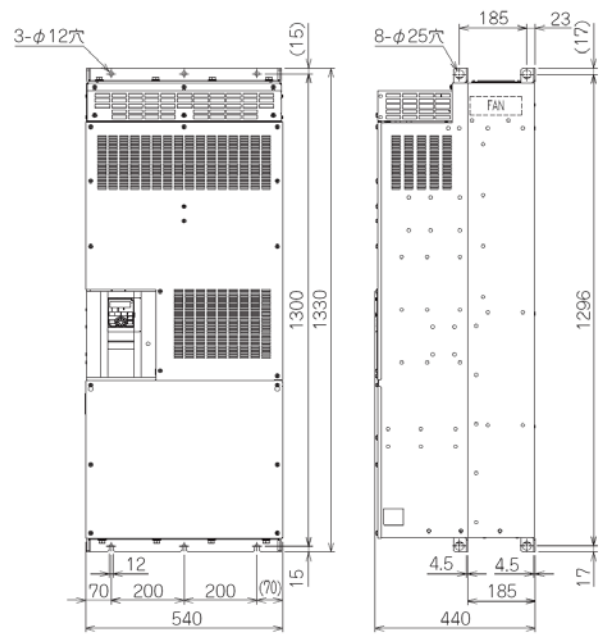
インバータ	定格電流
FR-A540L-375K	722A
FR-A842-355K FR-CC2-H355K	683A
FR-A842-400K FR-CC2-H400K	770A

外形寸法図 (単位 : mm)

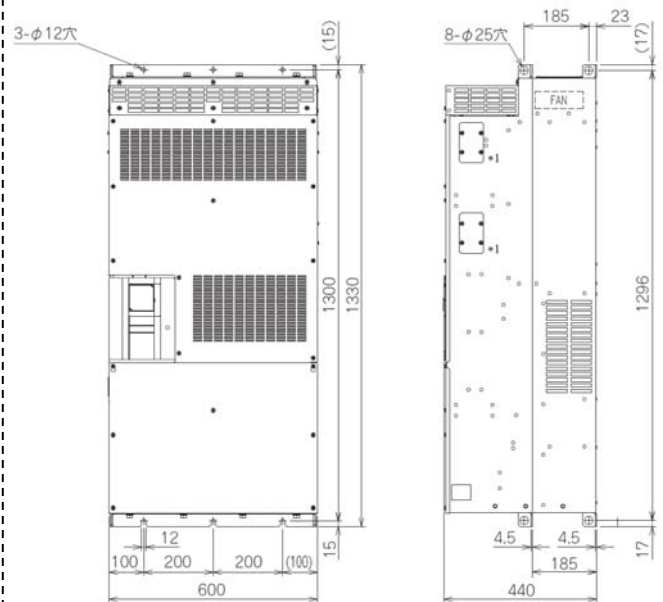
■FR-A540L-375K



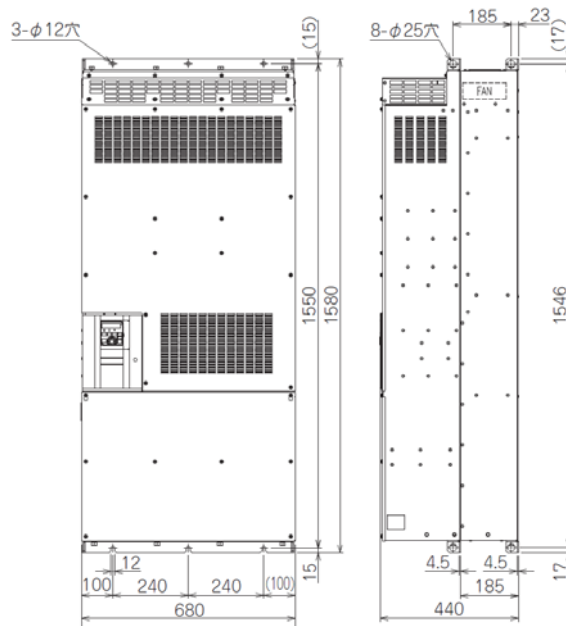
■FR-A842-355K (インバータユニット)



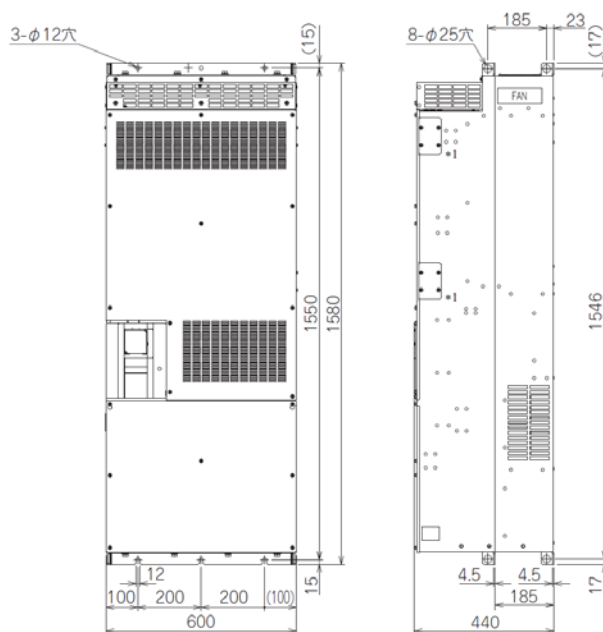
■FR-CC2-H355K (コンバータユニット)



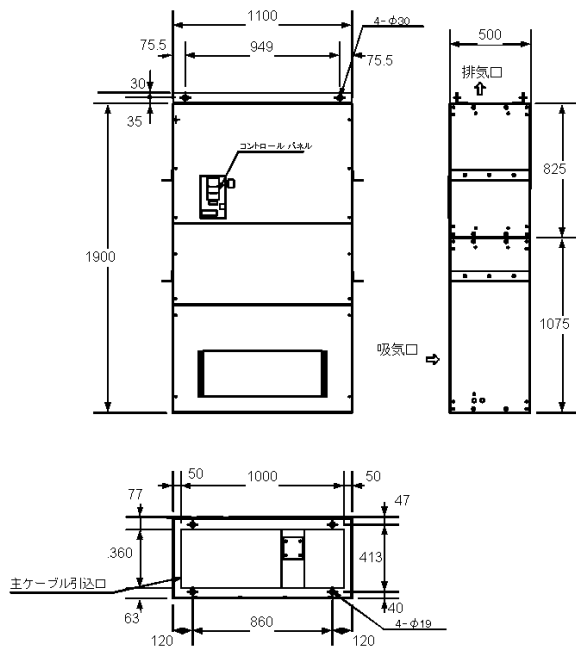
■FR-A842-400K (インバータユニット)



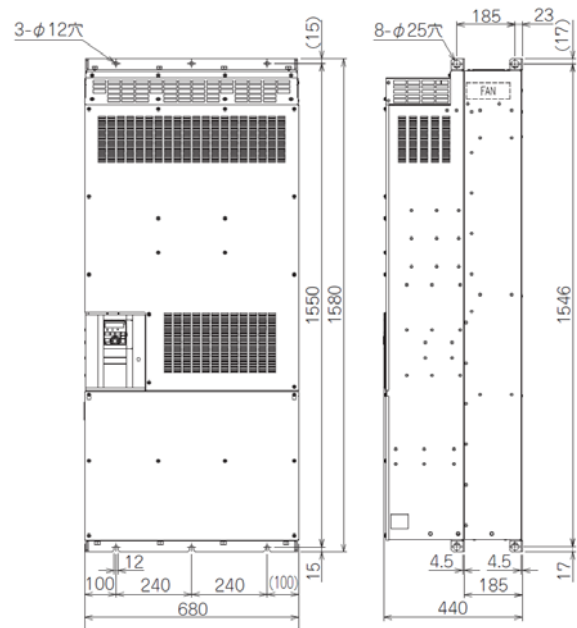
■FR-CC2-H400K (コンバータユニット)



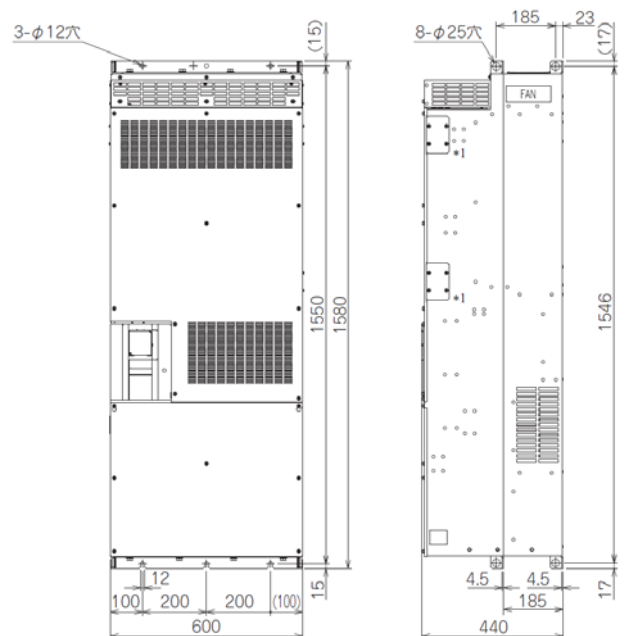
■FR-A540L-450K



■FR-A842-450K (インバータユニット)



■FR-CC2-H450K (コンバータユニット)



3. 結線

基本的に端子名称が同じなので、名称にあわせて接続してください。

種類	A500L 端子名称	A842 対応端子名称	CC2 対応端子名称	
主回路	R, S, T	—	R/L 1, S/L 2, T/L 3	
	U, V, W	U, V, W	—	
	R1, S1	R1/L11, S1/L21	R1/L11, S1/L21	
	P/+, PR	—	—	
	P/+, N/-	P/+, N/-	P/+, N/-	
	P/+, P1	—	P1*1	
	PR, PX	—	—	
	Ⓧ	Ⓧ	Ⓧ	
制御回路・入力信号	接点	STF	STF	—
		STR	STR	—
		STOP	STP(STOP)	—
		RH	RH	—
		RM	RM	—
		RL	RL	—
		JOG	JOG	—
		RT	RT	—
		AU	AU	—
		CS	CS	—
		MRS	MRS	—
		RES	RES	RES
		SD	SD	SD
		PC	PC	PC
アナログ	周波数設定	10E	10E	—
		10	10	—
		2	2	—
		4	4	—
		1	1	—
		5	5	—
制御回路出力信号	接点	A, B, C	A1, B1, C1	A1, B1, C1
	オープンコレクタ	RUN	RUN	—
		SU	SU	—
		OL	OL	—
		IPF	IPF	IPF
		FU	FU	—
		SE	SE	SE
	パルス	FM	FM	—
アナログ	AM	AM	—	
通信	RS-485	PUコネクタ	PUコネクタ	PUコネクタ

*1) 接続不可

主回路端子の端子配列

FREQROL-A500L シリーズと FREQROL-A800 シリーズの主回路端子配列を以下に示します。

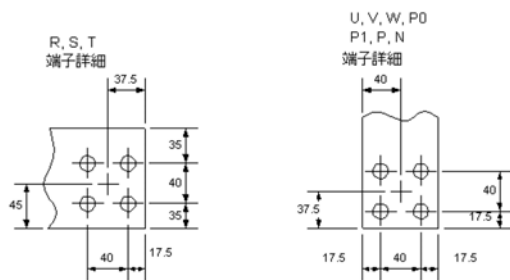
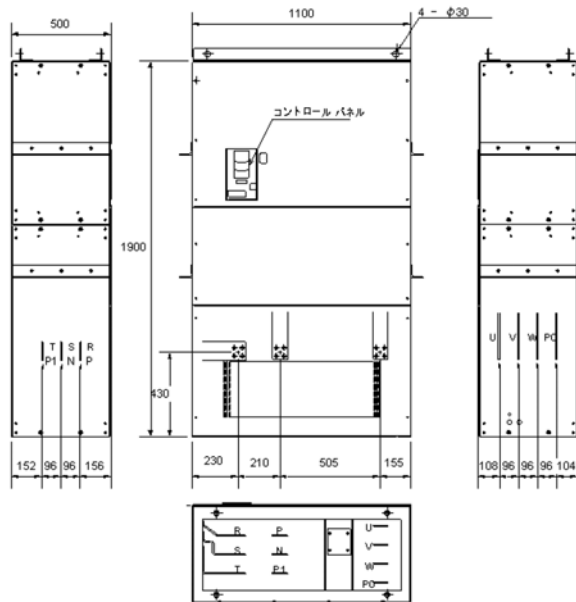
容量によっては主回路端子の配列、アース端子の位置が異なる場合がありますので、端子の名称、位置をご確認の上、配線してください。

FREQROL-A500L シリーズで使用されていた配線ケーブルの長さが足りない場合、配線ケーブル長の変更が必要になります。

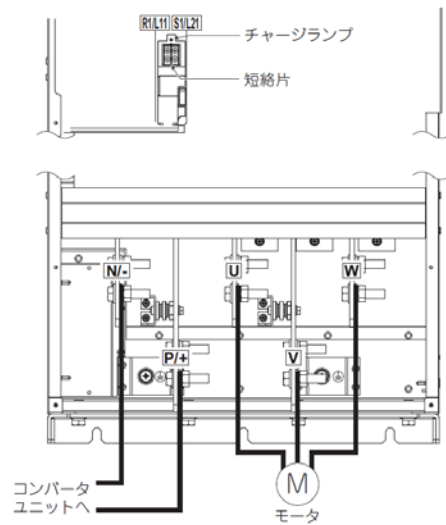
容量によっては端子ねじサイズが異なる場合がありますので、端子ねじサイズをご確認の上、配線してください。

【400V クラス】

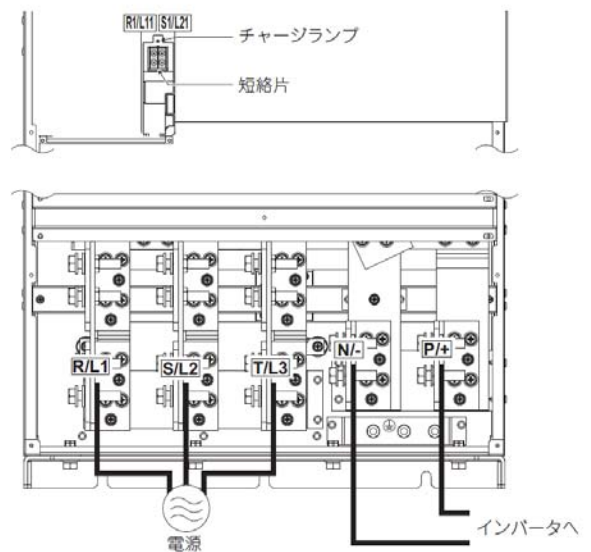
■FR-A540L-375K,450K

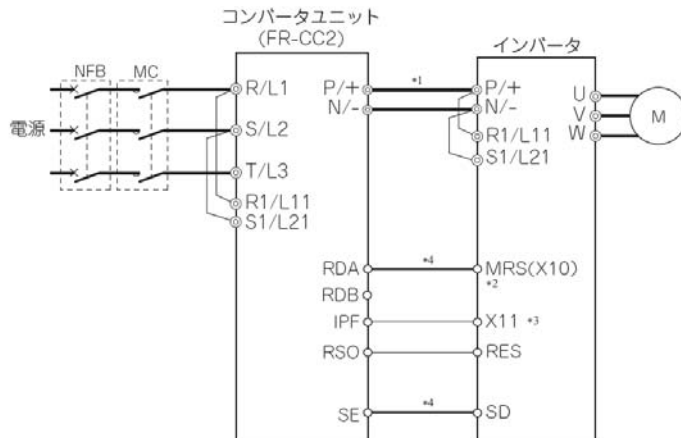


■FR-A842-355~450K (インバータユニット)



■FR-CC2-H355K~H450K (コンバータユニット)

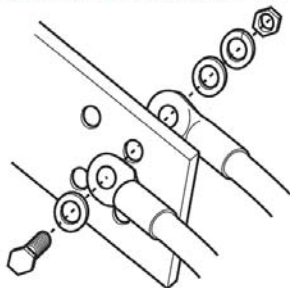




- *1 端子 P/+ーN/- 間 (PーP/+ 間、NーN/- 間) には、NFB を入れないでください。また、端子 N/-、P/+ の極性を間違えるとインバータが破損します。
- *2 X10 信号入力に使用する端子は、Pr.178 ~ Pr.189 (入力端子機能選択) のいずれかに "10" を設定して機能を割り付けてください。(初期設定で端子 MRS に X10 信号が割り付けられています。)
X10 信号は、初期設定で b 接点入力仕様になっています。a 接点入力仕様に変更するには、Pr.599 = "0" に設定してください。
- *3 X11 信号入力に使用する端子は、Pr.178 ~ Pr.189 (入力端子機能選択) のいずれかに "11" を設定して機能を割り付けてください。
RS-485 通信運転時などの始動指令が 1 回しか送信されない通信運転で、瞬停前のモードを保持する設定の場合には X11 信号を使用します。
- *4 コンバータユニットの端子 RDA とインバータの端子 MRS(X10)、コンバータユニットの端子 SE とインバータの端子 SD (シンクロジック) は、必ず接続してください。接続しない場合、コンバータユニットが破損するおそれがあります。

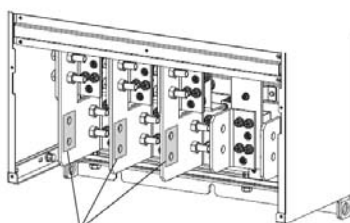
NOTE

- 電源線は必ずコンバータユニットの R/L1、S/L2、T/L3 に接続します。(相順を合わせる必要はありません。) インバータの U、V、W に接続するとインバータが破損しますので絶対に避けてください。
- モータはインバータの U、V、W に接続します。(相順をあわせてください。)
- 主回路導体に配線する際、導体に対し、ナットが右側にくるようにしてください。
また、共締めする場合は、導体を挟んで配線してください。(下図参照)
接続には、本体付属のボルト (ナット) を使用してください。



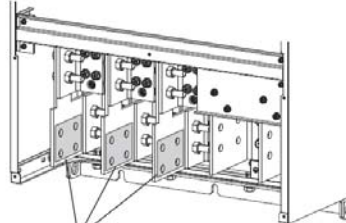
- コンバータユニット (FR-CC2) の主回路導体 (R/L1、S/L2、T/L3) に配線する際は、導体手前の主回路配線用ボルト (ナット) を使用してください。

FR-CC2-H315K、H355K



この部分に配線する。

FR-CC2-H400K ~ H500K

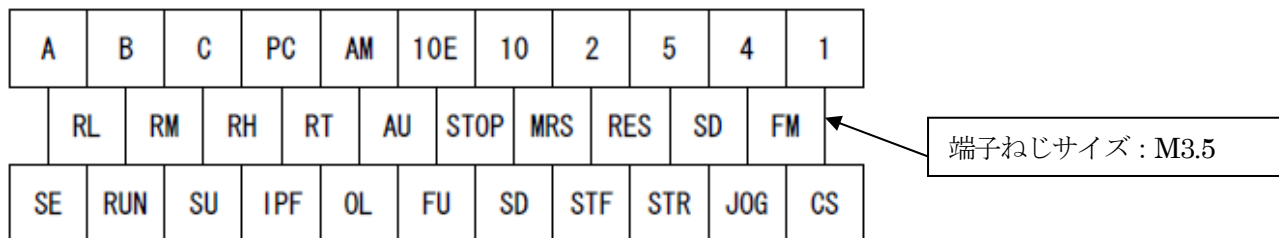


この部分に配線する。

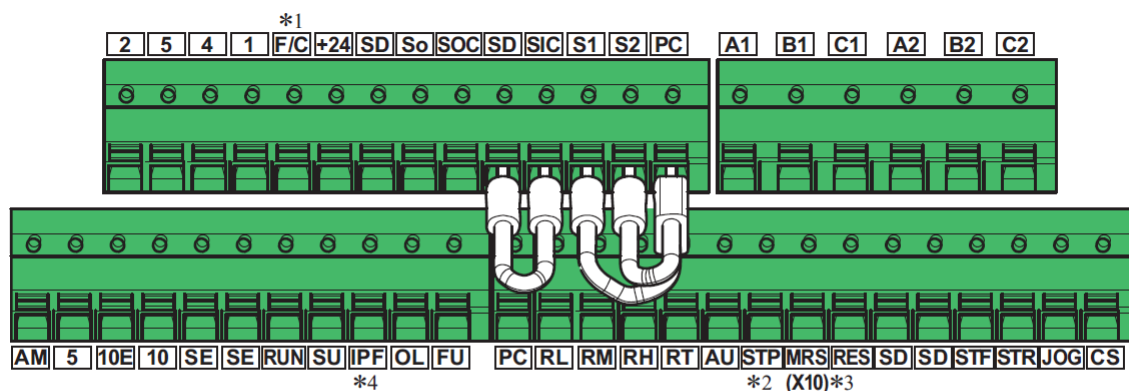
制御回路端子の端子配列

FREQROL-A500L シリーズと FREQROL-A800 シリーズの制御回路端子配列を以下に示します。
 FREQROL-A500L シリーズと FREQROL-A800 シリーズで制御回路端子の配列が異なりますので、端子の名称、位置をご確認の上、配線してください。

■FREQROL-A500L シリーズの制御回路端子配列



■FREQROL-A800 シリーズの制御回路端子配列



- *1 FM タイプインバータでは端子 FM として機能します。CA タイプインバータでは端子 CA として機能します。
- *2 端子 STOP を表します。
- *3 初期設定では X10 信号が割り付けられています。
- *4 初期設定では機能が割り付けられていません。

制御回路端子台取付互換アタッチメント FR-A8STAT を用いて FREQROL-A500 (L) シリーズの制御回路端子台を取付けることができます。但し、制約事項がありますので、制御回路端子台取付互換アタッチメント FR-A8STAT の取説を参照ください。

◆配線方法

• 電線の接続

制御回路の配線は、電線の被覆をむいて棒状端子を使用してください。単線の場合は、電線の被覆をむいてそのまま使用できます。棒状端子または、単線を配線口より差し込んで配線してください。

(1) 次の寸法で被覆をむいてください。むき長さが長すぎると隣の線と短絡の恐れがあります。短かすぎると線が抜ける恐れがあります。

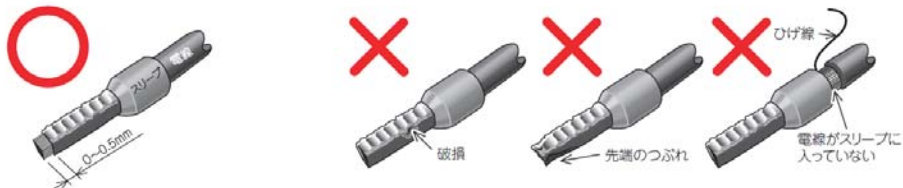
電線は、バラつかないように、よって配線処理をしてください。また、半田処理はしないでください。



(2) 棒状端子を圧着します。

電線の芯線部分がスリーブ部分から0～0.5mm程度はみ出るように差し込んでください。

圧着後、棒状端子の外観を確認してください。正しく圧着できていなかったり、側面が損傷している棒状端子は使用しないでください。



- 棒状端子の市販品例：(2012年2月時点)
フエニックス・コンタクト (株)

電線サイズ (mm ²)	棒状端子形名			圧着工具形名	お問い合わせ ^{*3}
	絶縁スリーブ付	絶縁スリーブなし	UL電線用 ^{*1}		
0.3	AI 0.5-10WH	—	—	CRIMPFOX 6	045-471-0030
0.5	AI 0.5-10WH	—	AI 0.5-10WH-GB		
0.75	AI 0.75-10GY	A 0.75-10	AI 0.75-10GY-GB		
1	AI 1-10RD	A 1-10	AI 1-10RD/1000GB		
1.25, 1.5	AI 1.5-10BK	A 1.5-10	AI 1.5-10BK/1000GB ^{*2}		
0.75 (2本用)	AI-TWIN 2×0.75-10GY	—	—		

*1 電線被覆の厚いMTW電線に対応した絶縁スリーブ付棒状端子です。

*2 端子A1、B1、C1、A2、B2、C2にのみ使用可能です。

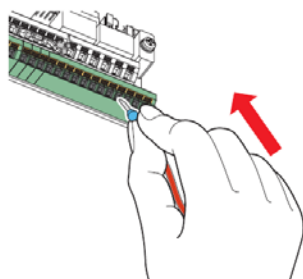
*3 電話番号は予告なしに変更される場合があります。

(株)ニチフ

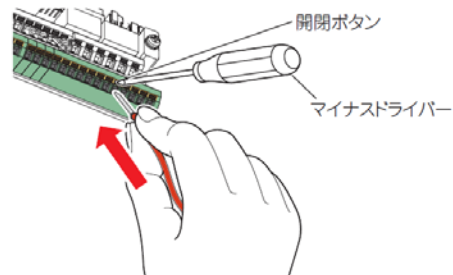
電線サイズ (mm ²)	棒状端子品番	キャップ品番	圧着工具品番	お問い合わせ ^{*4}
0.3～0.75	BT 0.75-11	VC 0.75	NH 69	052-733-9880 (名古屋特機営業所)

*4 電話番号は予告なしに変更される場合があります。

(3) 端子に電線を差し込みます。



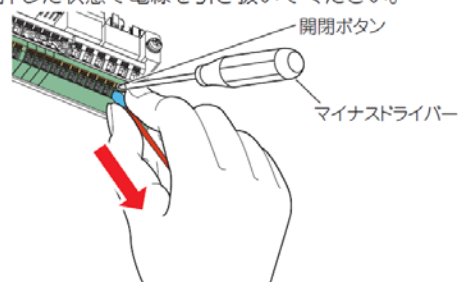
より線で棒状端子を使用しない場合や、単線の場合は、マイナスドライバーで開閉ボタンをしっかりと奥まで押した状態で電線を差し込んでください。



NOTE

- より線をそのまま配線する場合は、近隣の端子、または配線と短絡しないように電線を十分よってから行ってください。
- 通電中には絶対にロジックを切り換えないでください。

- 電線の取外し
マイナスドライバーで開閉ボタンをしっかりと奥まで
押した状態で電線を引き抜いてください。



NOTE

- 開閉ボタンをしっかりと奥まで押さずに引き抜くと、端子台が破損する恐れがあります。
- ドライバーは小形マイナスドライバー（刃先厚：0.4mm/刃先幅：2.5mm）を使用してください。
刃先幅が狭いものを使用すると端子台を破損する恐れがあります。

市販品の例（2012年2月時点）

品名	形式	メーカー名	お問い合わせ ^{*1}
ドライバ	SZF 0-0.4 x 2.5	フエニックス・ コンタクト（株）	045-471-0030

*1 電話番号は予告なしに変更される場合があります。

- マイナスドライバーは開閉ボタンに対して垂直に押しあててください。刃先がすべるとインバータの破損や、けがの原因となることがあります。

4. パラメータ

4. 1. パラメータ一覧表

パラメータ番号はほぼ同じですが、一部設定値等が異なる個所があります。下表を参考に設定してください。

FREQROL-A800 シリーズにおける FREQROL-A500L シリーズ対応パラメータ一覧表

FREQROL-A500L シリーズから FREQROL-A800 シリーズに置換える時の、パラメータ設定について以下に示します。

FREQROL-A500L シリーズでの設定値が工場出荷値以外に設定されている場合に以下の表に従って FREQROL-A800 シリーズのパラメータを設定してください。

FREQROL-A500L シリーズでの設定値が工場出荷値の場合、基本的には FREQROL-A800 シリーズのパラメータを変更する必要はありません。

設定△のパラメータは調整用のパラメータとなるので、必要に応じて調整してください。

下表によるパラメータの移行はインバータの動作特性や性能を保証するものではありません。

 のパラメータは、FREQROL-A500L シリーズと番号が異なります。

設定 ◎: FREQROL-A500L のパラメータをそのまま設定

△: FREQROL-A500L のパラメータを変更して設定

×: FREQROL-A800 にて調整・設定

FREQROL-A500L パラメータ一覧表				FREQROL-A800 対応パラメータ				パラメータ設定について	
機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	設定	備考
0	トルクブースト(手動)	0~30%	0.75K 以下: 6% 1.5K~3.7K: 4% 5.5K~7.5K: 3% 11K 以上: 2%	0	トルクブースト(手動)	0~30%	0.75K 以下: 6% 1.5K~3.7K: 4% 5.5K~7.5K: 3% 11K~55K: 2% 75K 以上: 1%	△	
1	上限周波数	0~120Hz	120Hz	1	上限周波数	0~120Hz	55K 以下: 120Hz 75K 以上: 60Hz	◎	
2	下限周波数	0~120Hz	0Hz	2	下限周波数	0~120Hz	0Hz	◎	
3	基底周波数	0~400Hz	60Hz	3	基底周波数	0~590Hz	60Hz	◎	
4	3速設定(高速)	0~400Hz	60Hz	4	3速設定(高速)	0~590Hz	60Hz	◎	
5	3速設定(中速)	0~400Hz	30Hz	5	3速設定(中速)	0~590Hz	30Hz	◎	
6	3速設定(低速)	0~400Hz	10Hz	6	3速設定(低速)	0~590Hz	10Hz	◎	
7	加速時間	0~3600s/ 0~360s	7.5K 以下: 5s 11K 以上: 15s	7	加速時間	0~3600s	7.5K 以下: 5s 11K 以上: 15s	◎	値を設定後、Pr.21 を変更すると設定値が変わるので注意してください。
8	減速時間	0~3600s/ 0~360s	7.5K 以下: 5s 11K 以上: 15s	8	減速時間	0~3600s	7.5K 以下: 5s 11K 以上: 15s	◎	値を設定後、Pr.21 を変更すると設定値が変わるので注意してください。
9	電子サーマル	0~500A	定格出力電流	9	電子サーマル	55K 以下: 0~500A 75K 以上: 0~3600A	定格出力電流	◎	モータ定格電流を設定してください。
10	直流制動動作周波数	0~120Hz,9999	3Hz	10	直流制動動作周波数	0~120Hz,9999	3Hz	◎	
11	直流制動動作時間	0~10s,8888	0.5s	11	直流制動動作時間	0~10s,8888	0.5s	◎	
12	直流制動電圧	0~30%	7.5K 以下: 4% 11K 以上: 2%	12	直流制動電圧	0~30%	7.5K 以下: 4% 11K~55K: 2% 75K 以上: 1%	△	
13	始動周波数	0~60Hz	0.5Hz	13	始動周波数	0~60Hz	0.5Hz	◎	
14	適用負荷選択	0~5	0	14	適用負荷選択	0~5,12~15	0	◎	
15	JOG 周波数	0~400Hz	5Hz	15	JOG 周波数	0~590Hz	5Hz	◎	
16	JOG 加減速時間	0~3600s/ 0~360s	0.5s	16	JOG 加減速時間	0~3600s	0.5s	◎	値を設定後、Pr.21 を変更すると設定値が変わるので注意してください。
17	MRS 入力選択	0,2	0	17	MRS 入力選択	0,2,4	0	◎	
18	高速上限周波数	120~400Hz	120Hz	18	高速上限周波数	0~590Hz	55K 以下: 120Hz 75K 以上: 60Hz	◎	
19	基底周波数電圧	0~1000V,8888,9999	9999	19	基底周波数電圧	0~1000V,8888,9999	9999	◎	
20	加減速基準周波数	1~400Hz	60Hz	20	加減速基準周波数	1~590Hz	60Hz	◎	
21	加減速時間単位	0,1	0	21	加減速時間単位	0,1	0	◎	

FREQROL-A500L パラメータ一覧表				FREQROL-A800 対応パラメータ				パラメータ設定について	
機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	設定	備考
22	ストール防止動作レベル	0~200%,9999	150%	22	ストール防止動作レベル	0~400%	150%*	△	FR-A500L の設定値が 9999 以外の場合 FR-A800 では同数値を設定してください。FR-A500L の設定値が 9999 の場合 FR-A800 では Pr.810=1,Pr.868=4 を設定してください。
				810	トルク制限入力方法選択	0,1	0	×	
				868	端子 1 機能割付け	0~6,9999	0	×	
23	倍速時ストール防止動作レベル補正係数	0~200%,9999	9999	23	倍速時ストール防止動作レベル補正係数	0~200%,9999	9999	◎	
24	多段速設定(4速)	0~400Hz,9999	9999	24	多段速設定(4速)	0~590Hz,9999	9999	◎	
25	多段速設定(5速)	0~400Hz,9999	9999	25	多段速設定(5速)	0~590Hz,9999	9999	◎	
26	多段速設定(6速)	0~400Hz,9999	9999	26	多段速設定(6速)	0~590Hz,9999	9999	◎	
27	多段速設定(7速)	0~400Hz,9999	9999	27	多段速設定(7速)	0~590Hz,9999	9999	◎	
28	多段速入力補正	0,1	0	28	多段速入力補正	0,1	0	◎	
29	加減速パターン	0,1,2,3	0	29	加減速パターン	0~6	0	◎	
30	回生機能選択	0,1,2	0	30	回生機能選択	2、10、11、102、110、111	10	△	FR-A500L の設定を以下の値に変更して設定してください。 0→10,1→11 上記以外はFR-A500L の設定値をそのまま設定してください。
31	周波数ジャンプ 1A	0~400Hz,9999	9999	31	周波数ジャンプ 1A	0~590Hz,9999	9999	◎	
32	周波数ジャンプ 1B	0~400Hz,9999	9999	32	周波数ジャンプ 1B	0~590Hz,9999	9999	◎	
33	周波数ジャンプ 2A	0~400Hz,9999	9999	33	周波数ジャンプ 2A	0~590Hz,9999	9999	◎	
34	周波数ジャンプ 2B	0~400Hz,9999	9999	34	周波数ジャンプ 2B	0~590Hz,9999	9999	◎	
35	周波数ジャンプ 3A	0~400Hz,9999	9999	35	周波数ジャンプ 3A	0~590Hz,9999	9999	◎	
36	周波数ジャンプ 3B	0~400Hz,9999	9999	36	周波数ジャンプ 3B	0~590Hz,9999	9999	◎	
37	回転速度表示	0,1~9998	0	37	回転速度表示	0,1~9998	0	◎	パラメータ周波数設定が機械速度表示になっている場合、周波数表示にしてからパラメータ設定を変更してください。完了後に再度機械速度へ変更してください。
41	周波数到達動作幅	0~100%	10%	41	周波数到達動作幅	0~100%	10%	◎	
42	出力周波数検出	0~400Hz	6Hz	42	出力周波数検出	0~590Hz	6Hz	◎	
43	逆転時出力周波数検出	0~400Hz,9999	9999	43	逆転時出力周波数検出	0~590Hz,9999	9999	◎	
44	第 2 加減速時間	0~3600s/ 0~360s	5s	44	第 2 加減速時間	0~3600s	5s	◎	値を設定後、Pr.21 を変更すると設定値が変わるので注意してください。
45	第 2 減速時間	0~3600s/ 0~360s,9999	9999	45	第 2 減速時間	0~3600s,9999	9999	◎	値を設定後、Pr.21 を変更すると設定値が変わるので注意してください。
46	第 2 トルクブースト	0~30%,9999	9999	46	第 2 トルクブースト	0~30%,9999	9999	◎	
47	第 2V/F(基底周波数)	0~400Hz,9999	9999	47	第 2V/F(基底周波数)	0~590Hz,9999	9999	◎	
48	第 2 ストール防止動作電流	0~200%	150%	48	第 2 ストール防止動作電流	0~400%	150%*	◎	
49	第 2 ストール防止動作周波数	0~400Hz,9999	0	49	第 2 ストール防止動作周波数	0~590Hz,9999	0	◎	
50	第 2 出力周波数検出	0~400Hz	30Hz	50	第 2 出力周波数検出	0~590Hz	30Hz	◎	
52	DU/PU メイン表示データ選択	0~20,22,23,24,25,100	0	52	DU/PU メイン表示データ選択	0,5~14,17~20, 22~35,38,40~45, 50~57,61,62,64,67, 87~98,100	0	◎	FR-A800 で設定値 9 を選択できません。
53	PU レベル表示データ選択	0~3,5~14,17,18	1	-	-	-	-	×	FR-A800 では選択できません。
54	FM 端子機能選択	1~3,5~14,17,18,21	1	54	FM/CA 端子機能選択	1~3,5~14,17,18, 21,24,32~34, 50,52,53,61,62,67,70 87~90,92,93,95,97,98	1	◎	FR-A800 で設定値 9 を選択できません。
55	周波数モニタ基準	0~400Hz	60Hz	55	周波数モニタ基準	0~590Hz	60Hz	◎	
56	電流モニタ基準	0~500A	定格出力電流	56	電流モニタ基準	55K 以下:0~500A 75K 以上:0~3600A	定格出力電流	◎	

*A540L-375K においては、設定値が 150% の場合 $150\% \times A540L$ 定格電流/A842 定格電流で設定してください。その際 A842-355K の設定は高めになりますので調整してください。

FREQROL-A500L パラメータ一覧表				FREQROL-A800 対応パラメータ				パラメータ設定について	
機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	設定	備考
57	再始動フリーラン時間	0,0.1~5s,9999	9999	57	再始動フリーラン時間	0,0.1~30s,9999	9999	◎	FR-A500L で Pr57≠9999 時は、FR-CC2 の Pr57 を 0 に設定してください。また、A800 は入力端子に CS 端子を割付けていない場合、Pr.57 の設定だけで常時再始動運転できます。
58	再始動立上り時間	0~60s	1.0s	58	再始動立上り時間	0~60s	1.0s	◎	
59	遠隔設定機能選択	0,1,2	0	59	遠隔設定機能選択	0~3,11~13	0	◎	
60	インテリジェントモード選択	0~8	0	60	省エネ制御選択	0,4,9	0	△	FR-A500L の設定値が 0,4 の場合は同数値で可。他の設定値の場合は、Pr.292 にて設定してください。
				292	オートマティック加減速	0,1,3,5~8,11	0	△	FR-A500L の設定値が 1,3,5,6,7,8 の場合は同数値で可。設定値が 2 の場合は、FR-A800 の Pr.292=1 に設定し、Pr.62=180%、Pr.63=180% に設定します。
61	基準電流	0~500A,9999	9999	61	基準電流	55K 以下:0~500A,9999 75K 以上:0~3600A,9999	9999	◎	FR-A540L-375K のみで設定が 9999 の場合、A540L-375K の定格電流値を設定してください。但し A842-355K は設定が高めになりますので調整してください。
62	加速時電流基準値	0~200%,9999	9999	62	加速時電流基準値	0~400%,9999	9999	◎	
63	減速時電流基準値	0~200%,9999	9999	63	減速時電流基準値	0~400%,9999	9999	◎	
64	昇降機モード始動周波数	0~10Hz,9999	9999	64	昇降機モード始動周波数	0~10Hz,9999	9999	◎	
65	リトライ選択	0~5	0	65	リトライ選択	0~5	0	◎	
66	ストール防止動作低減開始周波数	0~400Hz	60Hz	66	ストール防止動作低減開始周波数	0~590Hz	60Hz	◎	
67	アラーム発生時リトライ回数	0~10,101~110	0	67	アラーム発生時リトライ回数	0~10,101~110	0	◎	FR-CC2 の Pr67 の設定を FR-A500L に合わせてください。
68	リトライ実行待ち時間	0~10s	1s	68	リトライ実行待ち時間	0.1~600s	1s	◎	FR-CC2 の Pr68 の設定を FR-A500L に合わせてください。
69	リトライ実行回数表示消去	0	0	69	リトライ実行回数表示消去	0	0	◎	FR-CC2 の Pr69 の設定を FR-A500L に合わせてください。
70	特殊回生ブレーキ使用率	0.4K~1.5K:0~15% 2.2K~7.5K:0~30% 11K 以上:0%	0%	-	-	-	-	×	FR-A800 では選択できません。
71	適用モータ	0~8,13~18,20,23,24	0	71	適用モータ	0~6,13~16,20,23,24, 30,33,34,40,43,44,50,53, 54,70,73,74,330,333,334, 8090,8093,8094,9090, 9093,9094	0	△	FR-A500L→FR-A800 ()内は FR-A500L で Pr.96=3,103 の場合 7 → 5 (3) 8 → 6 (3) 17 → 15 (13) 18 → 16 (13)
72	PWM 周波数選択	0~15	2	72	PWM 周波数選択	55K 以下:0~15 75K 以上:0~6,25	2	◎	
73	0~5V,0~10V 選択	0~5,10~15	1	73	アナログ入力選択	0~7,10~17	1	◎	
74	フィルタ時定数	0~8	1	74	入力フィルタ時定数	0~8	1	◎	
75	リセット選択/PU 抜け検出/PU 停止選択	0~3,14~17	14	75	リセット選択/PU 抜け検出/PU 停止選択	55K 以下:0~3,14~17 75K 以上:0~3,14~17, 100~103,114~117	14	◎	
76	アラームコード出力選択	0,1,2,3	0	76	アラームコード出力選択	0,1,2	0	△	FR-A800 ではプログラム運転機能が削除されましたので、Pr.76=3 は設定できません。
77	パラメータ書込禁止選択	0,1,2	0	77	パラメータ書込禁止選択	0,1,2	0	◎	
78	逆転防止選択	0,1,2	0	78	逆転防止選択	0,1,2	0	◎	
79	運転モード選択	0~8	0	79	運転モード選択	0~4,6,7	0	△	FR-A800 ではプログラム運転機能が削除されましたので、Pr.79=5 は設定できません。FR-A500L の設定値が 8 の場合は、0 を設定し制御入力端子を X16 に設定してください。

FREQROL-A500L パラメータ一覧表				FREQROL-A800 対応パラメータ				パラメータ設定について	
機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	設定	備考
80	モータ容量	0.4~55kW,9999	9999	80	モータ容量	55K 以下:0.4~55kW, 9999 75K 以上:0~3600kW, 9999	9999	◎	
81	モータ極数	2,4,6,12,14,16,9999	9999	81	モータ極数	2,4,6,8,10,12,9999	9999	△	2~6 はそのまま、12~16 は-10して設定、9999 はそのまま
(82)	モータ励磁電流	0~****,9999	9999	82	モータ励磁電流	55K 以下:0~500A, 9999 75K 以上:0~3600A, 9999	9999	△	FR-A500L では Pr.77=801 にて読出ができません。 FR-A800 にて Pr.71=4 または 14 として設定値を入力するか、 オートチューニングを再度行って使用してください。
83	モータ定格電圧	0~1000V	200V クラス:200V 400V クラス:400V	83	モータ定格電圧	0~1000V	200V クラス:200V 400V クラス:400V	◎	
84	モータ定格周波数	50~120Hz	60Hz	84	モータ定格周波数	10~400Hz,9999	9999	◎	
89	速度制御ゲイン	0~200%	100%	89	速度制御ゲイン	0~200%,9999	9999	◎	FR-A500L では Pr.77=801 にて読出ができません。
(90)	モータ定数 R1	0~****,9999	9999	90	モータ定数 R1	55K 以下:0~50 Ω 9999 75K 以上:0~400m Ω 9999	9999	△	FR-A500L では Pr.77=801 にて読出ができません。 FR-A800 にて Pr.71=4 または 14 として設定値を入力するか、 オートチューニングを再度行って使用してください。
(91)	モータ定数 R2	0~****,9999	9999	91	モータ定数 R2	55K 以下:0~50 Ω 9999 75K 以上:0~400m Ω 9999	9999	△	FR-A500L では Pr.77=801 にて読出ができません。 FR-A800 にて Pr.71=4 または 14 として設定値を入力するか、 オートチューニングを再度行って使用してください。
(92)	モータ定数 L1	0~****,9999	9999	92	モータ定数 L1	55K 以下:0~50 Ω (0~1000mH),9999 75K 以上:0~3600m Ω (0~400mH),9999	9999	△	FR-A500L では Pr.77=801 にて読出ができません。 FR-A800 にて Pr.71=4 または 14 として設定値を入力するか、 オートチューニングを再度行って使用してください。 75K 以上 Pr.71=5,6,15,16 の場合 小数点第 2 位を四捨五入して設定してください。
(93)	モータ定数 L2	0~****,9999	9999	93	モータ定数 L2	55K 以下:0~50 Ω (0~1000mH),9999 75K 以上:0~3600m Ω (0~400mH),9999	9999	△	FR-A500L では Pr.77=801 にて読出ができません。 FR-A800 にて Pr.71=4 または 14 として設定値を入力するか、 オートチューニングを再度行って使用してください。75K 以上 Pr.71=5,6,15,16 の場合 小数点第 2 位を四捨五入して設定してください。
(94)	モータ定数 X	0~****,9999	9999	94	モータ定数 X	0~100%,9999	9999	△	FR-A500L では Pr.77=801 にて読出ができません。 FR-A800 にて Pr.71=4 または 14 として設定値を入力するか、 オートチューニングを再度行って使用してください。
95	オンラインオートチューニング選 択	0,1	0	95	オンラインオートチューニング選 択	0~2	0	◎	
96	オートチューニング設定/状態	0,1,101	0	96	オートチューニング設定/状態	0,1,11,101	0	△	オートチューニングを実施していた場合は、必要に応じてチュ ーニングを再度実施してください。
100	V/F1(第 1 周波数)	0~400Hz,9999	9999	100	V/F1(第 1 周波数)	0~590Hz,9999	9999	◎	
101	V/F1(第 1 周波数電圧)	0~1000V	0	101	V/F1(第 1 周波数電圧)	0~1000V	0V	◎	
102	V/F2(第 2 周波数)	0~400Hz,9999	9999	102	V/F2(第 2 周波数)	0~590Hz,9999	9999	◎	
103	V/F2(第 2 周波数電圧)	0~1000V	0	103	V/F2(第 2 周波数電圧)	0~1000V	0V	◎	
104	V/F3(第 3 周波数)	0~400Hz,9999	9999	104	V/F3(第 3 周波数)	0~590Hz,9999	9999	◎	
105	V/F3(第 3 周波数電圧)	0~1000V	0	105	V/F3(第 3 周波数電圧)	0~1000V	0V	◎	
106	V/F4(第 4 周波数)	0~400Hz,9999	9999	106	V/F4(第 4 周波数)	0~590Hz,9999	9999	◎	
107	V/F4(第 4 周波数電圧)	0~1000V	0	107	V/F4(第 4 周波数電圧)	0~1000V	0V	◎	

FREQROL-A500L パラメータ一覧表				FREQROL-A800 対応パラメータ				パラメータ設定について	
機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	設定	備考
108	V/F5(第5周波数)	0~400Hz,9999	9999	108	V/F5(第5周波数)	0~590Hz,9999	9999	◎	
109	V/F5(第5周波数電圧)	0~1000V	0	109	V/F5(第5周波数電圧)	0~1000V	0V	◎	
110	第3加減速時間	0~3600s/ 0~360s,9999	9999	110	第3加減速時間	0~3600s,9999	9999	◎	値を設定後、Pr.21 を変更すると設定値が変わるので注意してください。
111	第3減速時間	0~3600s/ 0~360s,9999	9999	111	第3減速時間	0~3600s,9999	9999	◎	値を設定後、Pr.21 を変更すると設定値が変わるので注意してください。
112	第3トルクブースト	0~30%,9999	9999	112	第3トルクブースト	0~30%,9999	9999	◎	
113	第3V/F(基底周波数)	0~400Hz,9999	9999	113	第3V/F(基底周波数)	0~590Hz,9999	9999	◎	
114	第3ストール防止動作電流	0~200%	150%	114	第3ストール防止動作電流	0~400%	150%*	◎	
115	第3ストール防止動作周波数	0~400Hz	0	115	第3ストール防止動作周波数	0~590Hz	0	◎	
116	第3出力周波数検出	0~400Hz,9999	9999	116	第3出力周波数検出	0~590Hz	60Hz	△	FR-A500L の設定値が 9999 の場合、FR-A800 は工場出荷値のまま可。
117	通信局番	0~31	0	117	PU 通信局番	0~31	0	◎	
118	通信速度	48,96,192	192	118	PU 通信速度	48,96,192,384,576,768, 1152	192	◎	
119	ストップビット長/データ長	0,1,10,11	1	119	PU 通信ストップビット長	0,1,10,11	1	◎	
120	パリティチェック有無	0,1,2	2	120	PU 通信パリティチェック	0,1,2	2	◎	
121	交信リトライ回数	0~10,9999	1	121	PU 通信リトライ回数	0~10,9999	1	◎	
122	交信チェック時間間隔	0,0.1~999.8s,9999	0	122	PU 通信チェック時間間隔	0,0.1~999.8s,9999	9999	△	FR-A800 では、工場出荷値が変更されています。
123	待ち時間設定	0~150ms,9999	9999	123	PU 通信待ち時間設定	0~150ms,9999	9999	◎	
124	CR・LF 有無選択	0,1,2	1	124	PU 通信 CR/LF 有無選択	0,1,2	1	◎	
128	PID 動作選択	10,11,20,21	10	128	PID 動作選択	0,10,11,20,21,40~43, 50,51,60,61,70,71,80,81, 90,91,100,101,1000, 1001,1010,1011,2000, 2001,2010,2011	0	△	Pr.180~186 に 14(X14 信号)が設定されていない場合または Pr.180~186 に 14(X14 信号)が設定されていても PID 制御を使用していない場合は、設定値を 0 としてください。A800 は入力端子に X14 信号を割付けていない場合 Pr.128 の設定のみで PID 制御します。
129	PID 比例帯	0.1~1000%,9999	100%	129	PID 比例帯	0.1~1000%,9999	100%	◎	
130	PID 積分時間	0.1~3600s,9999	1s	130	PID 積分時間	0.1~3600s,9999	1s	◎	
131	上限リミット	0~100%,9999	9999	131	PID 上限リミット	0~100%,9999	9999	◎	
132	下限リミット	0~100%,9999	9999	132	PID 下限リミット	0~100%,9999	9999	◎	
133	PU 運転時の PID 動作目標値	0~100%	0%	133	PID 動作目標値	0~100%,9999	9999	△	FR-A800 で端子 2 の値を目標値とする場合は、9999 を設定。FR-A800 で 9999 以外を設定すると、PU 運転時以外でも目標値となるので注意してください。
134	PID 微分時間	0.01~10.00s,9999	9999	134	PID 微分時間	0.01~10.00s,9999	9999	◎	
135	商用切換シーケンス出力端子選択	0,1	0	135	商用切換シーケンス出力端子選択	0,1	0	◎	
136	MC 切換インタロック時間	0~100.0s	1.0s	136	MC 切換インタロック時間	0~100.0s	1.0s	◎	
137	始動開始待ち時間	0~100.0s	0.5s	137	始動開始待ち時間	0~100.0s	0.5s	◎	
138	異常時商用切換選択	0,1	0	138	異常時商用切換選択	0,1	0	◎	
139	インバータ商用自動切換周波数	0~60.00Hz,9999	9999	139	インバータ商用自動切換周波数	0~60.00Hz,9999	9999	◎	
140	バックラッシュ加速時中断周波数	0~400Hz	1Hz	140	バックラッシュ加速時中断周波数	0~590Hz	1Hz	◎	Pr.29=3 にて有効となります。
141	バックラッシュ加速時中断時間	0~360s	0.5s	141	バックラッシュ加速時中断時間	0~360s	0.5s	◎	Pr.29=3 にて有効となります。
142	バックラッシュ減速時中断周波数	0~400Hz	1Hz	142	バックラッシュ減速時中断周波数	0~590Hz	1Hz	◎	Pr.29=3 にて有効となります。
143	バックラッシュ減速時中断時間	0~360s	0.5s	143	バックラッシュ減速時中断時間	0~360s	0.5s	◎	Pr.29=3 にて有効となります。
144	回転数設定切換	0,2,4,6,8,10 102,104,106,108,110	4	144	回転速度設定切換	0,2,4,6,8,10, 102,104,106,108,110,112	4	◎	
145	パラメータユニット言語切換	0~7	0	145	パラメータユニット言語切換	0~7	1	△	FR-A800 では、工場出荷値が変更されています。
148	入力 0V 時のストール防止レベル	0~200%	150%	148	入力 0V 時のストール防止レベル	0~400%	150%*	◎	
149	入力 10V 時のストール防止レベル	0~200%	200%	149	入力 10V 時のストール防止レベル	0~400%	200%*	◎	

*A540L-375K においては、設定値が 150% の場合 150% × A540L 定格電流/A842 定格電流で設定してください。その際 A842-355K の設定は高めになりますので調整してください。

FREQROL-A500L パラメータ一覧表				FREQROL-A800 対応パラメータ				パラメータ設定について	
機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	設定	備考
150	出力電流検出レベル	0~200%	150%	150	出力電流検出レベル	0~400%	150%*	◎	
151	出力電流検出時間	0~10s	0	151	出力電流検出信号遅延時間	0~10s	0	◎	
152	ゼロ電流検出レベル	0~200%	5.0%	152	ゼロ電流検出レベル	0~400%	5%*	◎	
153	ゼロ電流検出時間	0~1s	0.5s	153	ゼロ電流検出時間	0~10s	0.5s	◎	
154	ストール防止動作中の電圧低減選択	0,1	1	154	ストール防止動作中の電圧低減選択	0,1,10,11	1	◎	
155	RT 信号反映タイミング選択	0,10	0	155	RT 信号反映時期選択	0,10	0	◎	
156	ストール防止動作選択	0~31,100,101	0	156	ストール防止動作選択	0~31,100,101	0	◎	
157	OL 信号出力タイマ	0~25s,9999	0	157	OL 信号出力タイマ	0~25s,9999	0s	◎	
158	AM 端子機能選択	1~3,5~14,17,18,21	1	158	AM 端子機能選択	1~3,5~14,17,18,21,24,32~34,50,52~54,61,62,67,70,87~90,91~98	1	◎	FR-A800 で設定値 9 を選択できません
160	ユーザグループ読出選択	0,1,10,11	0	160	ユーザグループ読出選択	0,1,9999	0	△	FR-A800 ではユーザグループ 2 は削除されました。
162	瞬停再始動動作選択	0,1	0	162	瞬停再始動動作選択	0~3,10~13	0	◎	
163	再始動第 1 立上り時間	0~20s	0s	163	再始動第 1 立上り時間	0~20s	0s	◎	
164	再始動第 1 立上り電圧	0~100%	0%	164	再始動第 1 立上り電圧	0~100%	0%	◎	
165	再始動ストール防止動作レベル	0~200%	150%	165	再始動ストール防止動作レベル	0~400%	150%*	◎	
170	積算電力計クリア	0	0	170	積算電力計クリア	0,10,9999	9999	×	設定不要
171	実稼働時間計クリア	0	0	171	実稼働時間計クリア	0,9999	9999	×	設定不要
173	ユーザグループ 1 登録	0~999	0	173	ユーザグループ登録	0~1999,9999	9999	×	必要に応じて再設定してください
174	ユーザグループ 1 削除	0~999,9999	0	174	ユーザグループ削除	0~1999,9999	9999	×	
175	ユーザグループ 2 登録	0~999	0	-				×	FR-A800 には機能無し。
176	ユーザグループ 2 削除	0~999,9999	0	-				×	FR-A800 には機能無し。
180	RL 端子機能選択	0~99,9999	0	180	RL 端子機能選択	0~20,22~28,37,42~47,50,51,62,64~69,72~74,76~80,87,92~96,9999	0	◎	FR-A800 で設定値 70,71 を選択できません。
181	RM 端子機能選択	0~99,9999	1	181	RM 端子機能選択		1	◎	FR-A800 で設定値 70,71 を選択できません。
182	RH 端子機能選択	0~99,9999	2	182	RH 端子機能選択		2	◎	FR-A800 で設定値 70,71 を選択できません。
183	RT 端子機能選択	0~99,9999	3	183	RT 端子機能選択		3	◎	FR-A800 で設定値 70,71 を選択できません。
184	AU 端子機能選択	0~99,9999	4	184	AU 端子機能選択		4	◎	FR-A800 で設定値 70,71 を選択できません。
185	JOG 端子機能選択	0~99,9999	5	185	JOG 端子機能選択		5	◎	FR-A800 で設定値 70,71 を選択できません。
186	CS 端子機能選択	0~99,9999	6	186	CS 端子機能選択		6	◎	FR-A800 で設定値 70,71 を選択できません。
-	-	-	-	187	MRS 端子機能選択		10	△	FR-A800 で設定値 70,71 を選択できません。設定値を 10 に変更して下さい。FR-CC2 からの出力許可信号(RDY)の接続時に、断線時出力遮断に対応するため。
190	RUN 端子機能選択	0~199,9999	0	190	RUN 端子機能選択	0~8,10~20,22,25~28,30~36,38~54,56,57,60,61,63,64,67,68,70,79,84,85,90~99,100~108,110~116,120,122,125~128,130~136,138~154,156,157,160,161,163,164,167,168,170,179,184,185,190~199,200~208,300~308,9999	0	◎	FR-A800 で設定値 2,7,46,85,87,89,102,107,146,185,187,189 を選択できません。2,102 が設定されている場合は FR-CC2 にて設定してください。
191	SU 端子機能選択	0~199,9999	1	191	SU 端子機能選択		1	◎	
192	IPF 端子機能選択	0~199,9999	2	192	IPF 端子機能選択		9999	△	
193	OL 端子機能選択	0~199,9999	3	193	OL 端子機能選択		3	◎	
194	FU 端子機能選択	0~199,9999	4	194	FU 端子機能選択	0~8,10~20,22,25~28,30~36,38~54,56,57,60,61,63,64,67,68,70,79,84,85,90~99,100~108,110~116,120,122,125~128,130~136,138~154,156,157,160,161,163,164,167,168,170,179,184,185,190~199,200~208,300~308,9999	4	◎	FR-A800 で設定値 2,7,46,85,87,89,102,107,146,185,187,189 を選択できません。
195	A,B,C 端子機能選択	0~199,9999	99	195	ABC1 端子機能選択		99	◎	

*A540L-375K においては、設定値が 150% の場合 150% × A540L 定格電流 / A842 定格電流で設定してください。その際 A842-355K の設定は高めになりますので調整してください。

FREQR0L-A500L パラメータ一覧表				FREQR0L-A800 対応パラメータ				パラメータ設定について	
機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	設定	備考
199	ユーザ初期値設定	0~999,9999	0	—				×	FR-A800 には機能無し。
200	プログラム運転分秒選択	0~3	0	—				×	FR-A800 には機能無し。
201~210	プログラムセット 1 1~10	0~2 0~400Hz,9999 0~99.59	0 9999 0	—				×	FR-A800 には機能無し。
211~220	プログラムセット 2 11~20	0~2 0~400Hz,9999 0~99.59	0 9999 0	—				×	FR-A800 には機能無し。
221~230	プログラムセット 3 21~30	0~2 0~400Hz,9999 0~99.59	0 9999 0	—				×	FR-A800 には機能無し。
231	タイマセット	0~99.59	0	—				×	FR-A800 には機能無し。
232	多段速設定(8速)	0~400Hz,9999	9999	232	多段速設定(8速)	0~590Hz,9999	9999	◎	
233	多段速設定(9速)	0~400Hz,9999	9999	233	多段速設定(9速)	0~590Hz,9999	9999	◎	
234	多段速設定(10速)	0~400Hz,9999	9999	234	多段速設定(10速)	0~590Hz,9999	9999	◎	
235	多段速設定(11速)	0~400Hz,9999	9999	235	多段速設定(11速)	0~590Hz,9999	9999	◎	
236	多段速設定(12速)	0~400Hz,9999	9999	236	多段速設定(12速)	0~590Hz,9999	9999	◎	
237	多段速設定(13速)	0~400Hz,9999	9999	237	多段速設定(13速)	0~590Hz,9999	9999	◎	
238	多段速設定(14速)	0~400Hz,9999	9999	238	多段速設定(14速)	0~590Hz,9999	9999	◎	
239	多段速設定(15速)	0~400Hz,9999	9999	239	多段速設定(15速)	0~590Hz,9999	9999	◎	
240	Soft-PWM 設定	0,1,10,11	1	240	Soft-PWM 設定	0,1	1	△	FR-A500L の設定値に対する FR-A800 での設定値を以下に示します。0,10→0、1,11→1。
244	冷却ファン動作選択	0,1	0	244	冷却ファン動作選択	0,1,101~105	1	△	FR-A800 では工場出荷値が変更されています。
250	停止選択	0~100s,9999	9999	250	停止選択	0~100s, 1000~1100s, 8888,9999	9999	◎	
251	出力欠相保護選択	0,1	1	251	出力欠相保護選択	0,1	1	◎	
252	オーバーライドバイアス	0~200%	50%	252	オーバーライドバイアス	0~200%	50%	◎	
253	オーバーライドゲイン	0~200%	150%	253	オーバーライドゲイン	0~200%	150%	◎	
261	停電停止選択	0,1	0	261	停電停止選択	0,1,2,11,12,21,22	0	△	
262	減速開始時減算周波数	0~20Hz	3Hz	262	減速開始時減算周波数	0~20Hz	3Hz	△	
263	減算処理開始周波数	0~120Hz,9999	60Hz	263	減算処理開始周波数	0~590Hz,9999	60Hz	△	
264	停電時減速時間 1	0~3600s/ 0~360s	5s	264	停電時減速時間 1	0~3600s	5s	△	
265	停電時減速時間 2	0~3600s/ 0~360s,9999	9999	265	停電時減速時間 2	0~3600s,9999	9999	△	
266	停電時減速時間切換周波数	0~400Hz	60Hz	266	停電時減速時間切換周波数	0~590Hz	60Hz	△	
270	あて止め、負荷トルク高速周波数制御選択	0,1,2,3	0	270	あて止め、負荷トルク高速周波数制御選択	0,1,2,3,11,13	0	◎	
271	高速設定上限電流値	0~200%	50%	271	高速設定上限電流値	0~400%	50%*	◎	
272	中速設定下限電流値	0~200%	100%	272	中速設定下限電流値	0~400%	100%*	◎	
273	電流平均化範囲	0~400Hz,9999	9999	273	電流平均化範囲	0~590Hz,9999	9999	◎	
274	電流平均フィルタ定数	1~4000	16	274	電流平均フィルタ定数	1~4000	16	◎	
275	あて止め時励磁電流低速倍率	0~1000%,9999	9999	275	あて止め時励磁電流低速倍率	50~300%,9999	9999	◎	

*A540L-375K においては、設定値が 150% の場合 150% × A540L 定格電流 / A842 定格電流で設定してください。その際 A842-355K の設定は高めになりますので調整してください。

FREQROL-A500L パラメータ一覧表				FREQROL-A800 対応パラメータ				パラメータ設定について	
機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	設定	備考
276	あて止め時 PWM キャリア周波数	0~15,9999	9999	276	あて止め時 PWM キャリア周波数	55K 以下:0~9,9999 75K 以上:0~4,9999	9999	△	FR-A500L で 9 以上の値が設定されていた場合は、FR-A800 では 9 を設定してください。
278	ブレーキ開放周波数	0~30Hz	3Hz	278	ブレーキ開放周波数	0~30Hz	3Hz	◎	
279	ブレーキ開放電流	0~200%	130%	279	ブレーキ開放電流	0~400%	130%*	◎	
280	ブレーキ開放電流検出時間	0~2s	0.3s	280	ブレーキ開放電流検出時間	0~2s	0.3s	◎	
281	始動時ブレーキ動作時間	0~5s	0.3s	281	始動時ブレーキ動作時間	0~5s	0.3s	◎	
282	ブレーキ動作周波数	0~30Hz	6Hz	282	ブレーキ動作周波数	0~30Hz	6Hz	◎	
283	停止時ブレーキ動作時間	0~5s	0.3s	283	停止時ブレーキ動作時間	0~5s	0.3s	◎	
284	減速度検出機能選択	0,1	0	284	減速度検出機能選択	0,1	0	◎	
285	オーバースピード検出周波数	0~30Hz,9999	9999	285	オーバースピード検出周波数 (速度偏差過大検出周波数)	0~30Hz,9999	9999	◎	
286	ドループゲイン	0~100%	0%	286	ドループゲイン	0~100%	0%	◎	
287	ドループフィルタ時定数	0.00~1.00s	0.3s	287	ドループフィルタ時定数	0~1s	0.3s	◎	
342	E2PROM 書込み有無選択	0,1	0	342	通信 EEPROM 書込み選択	0,1	0	◎	
503	コンデンサ寿命タイマ	—	—	503	メンテナンスタイマ 1	0(1~9998)	0	×	設定不要
504	コンデンサ寿命警報出力設定時間	0~9998,(9999)	876	504	メンテナンスタイマ 1 警報出力設定時間	0~9998,9999	9999	△	FR-A800 で設定値を 9999 とすると機能無しとなります。 FR-A500L で 9999 が設定されていた場合は、FR-A800 では 876 を設定してください。
611	再始動時加速時間	0~3600s,9999	5.0s	611	再始動時加速時間	0~3600s,9999	9999	◎	
900	FM 端子校正	—	—	C0 (900)	FM/CA 端子校正	—	—	×	必要に応じて校正してください
901	AM 端子校正	—	—	C1 (901)	AM 端子校正	—	—	×	必要に応じて校正してください
902	周波数設定電圧バイアス	0~60Hz:0~10V	0Hz:0V	C2 (902)	端子 2 周波数設定バイアス周波数	0~590Hz	0Hz	△	必要に応じて再設定してください。 詳細は取扱説明書(詳細編)『5.12.5 周波数設定電圧(電流)のバイアスとゲイン』『5.12.6 トルク(磁束)設定電圧(電流)のバイアスとゲイン』を参照してください。
				C3 (902)	端子 2 周波数設定バイアス	0~300%	0%	△	
903	周波数設定電圧ゲイン	1~400Hz:0~10V	60Hz:5V	125 (903)	端子 2 周波数設定ゲイン周波数	0~590Hz	60Hz	△	
				C4 (903)	端子 2 周波数設定ゲイン	0~300%	100%	△	
904	周波数設定電流バイアス	0~60Hz:0~20mA	0Hz:4mA	C5 (904)	端子 4 周波数設定バイアス周波数	0~590Hz	0Hz	△	
				C6 (904)	端子 4 周波数設定バイアス	0~300%	20%	△	
905	周波数設定電流ゲイン	1~400Hz:0~20mA	60Hz:20mA	126 (905)	端子 4 周波数設定ゲイン周波数	0~590Hz	60Hz	△	
				C7 (905)	端子 4 周波数設定ゲイン	0~300%	100%	△	
990	PU ブザー音制御	0,1	1	990	PU ブザー音制御	0,1	1	◎	

*A540L-375K においては、設定値が 150% の場合 150% × A540L 定格電流/A842 定格電流で設定してください。その際 A842-355K の設定は高めになりますので調整してください。

FR-A5NC における FR-A8NC 対応パラメータ一覧表

FR-A5NC から FR-A8NC に置換える時の、FREQROL-A800 シリーズのパラメータ設定について以下に示します。
 FREQROL-A500L シリーズでの設定値が工場出荷値以外に設定されている場合に以下の表に従って FREQROL-A800 シリーズのパラメータを設定してください。
 FREQROL-A500L シリーズでの設定値が工場出荷値の場合、基本的には FREQROL-A800 シリーズのパラメータを変更する必要はありません。

 のパラメータは、FREQROL-A500L シリーズと番号が異なります。

設定 ◎: FREQROL-A500L のパラメータをそのまま設定
 △: FREQROL-A500L のパラメータを変更して設定
 ×: FREQROL-A800 にて調整・設定

FREQROL-A500L パラメータ一覧表				FREQROL-A800 対応パラメータ				パラメータ設定について	
機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	機能番号	名称	設定範囲	工場出荷値	設定	備考
338	運転指令権	0, 1	0	338	通信運転指令権	0, 1	0	×	FR-A800 では MRS,RES,端子 1 の操作権が FR-A500L と異なります。
339	速度指令権	0, 1	0	339	通信速度指令権	0, 1, 2	0		
340	リンク立ち上がりモード選択	0~2, 10, 12, 20, 22	0	340	通信立ち上がりモード選択	0, 1, 2, 10, 12	0	×	FR-A800 では設定値 20, 22 は使用できません。X66 信号と Pr.79, Pr.340 との組合せにより動作が異なります。
349	CC-Link 通信時エラーリセット選択	0, 1	0	349	通信リセット選択	0, 1	0	◎	
500	通信エラー実行待ち時間	0~999. 8s	0s	500	通信異常実行待ち時間	0~999. 8s	0s	◎	
501	通信異常発生回数表示	0	0	501	通信異常発生回数表示	0	0	◎	
502	通信異常時停止モード選択	0~2	0	502	通信異常時停止モード選択	0~3	0	◎	
				542	通信局番(CC-Link)	1~64	1	×	FR-A500L では局番設定スイッチで局番を設定しますが、FR-A800 では Pr.542 に設定してください。
				543	ボーレート選択(CC-Link)	0~4	0	×	FR-A500L では伝送ボーレート設定スイッチでボーレートを設定しますが、FR-A800 では Pr.543 に設定してください。 設定値 0: 156kbps 設定値 1: 625kbps 設定値 2: 2.5Mbps 設定値 3: 5Mbps 設定値 4: 10Mbps

4. 2. FREQROL-A800 シリーズでの制約事項

FREQROL-A500L シリーズから FREQROL-A800 シリーズへ置き換える場合、FREQROL-A800 シリーズで対応していない機能を以下に記します。

(1)対応していない機能

No	項目	備考
1	停電停止機能	2014年8月以降に製造された FR-CC2 は機能あり
2	PU レベル表示データ 選択	
3	ユーザ初期値設定	
4	プログラム運転機能	
5	ユーザグループ 2	
6	特殊回生ブレーキ 使用率	
7	商用切り替え シーケンス	FR-CC2 でのエラー発生時、商用運転切り換えはできません。 2014年8月以降に製造された FR-CC2 は X95, X96 信号で対応
8	警報、保護機能	FR-A842 では回生ブレーキプリアラーム (RB)、ブレーキトランジスタ異常検出 (E. BE) に対応していません。

(2)FR-A842 では対応していませんが、FR-CC2 で対応している機能

No	項目	備考
1	警報、保護機能	FR-CC2 にて、瞬時停電 (E. IPF)、不足電圧 (E. UVT) を検出可能です。

(3)その他の制約事項

No	項目	備考
1	起動時間	FR-CC2 にて制御電源のみ入力した状態で主回路電源を入力しますと FR-CC2 が初期リセットを行いますので、インバータもリセットされ起動が遅れます
2	操作パネル FR-CC2 のみ	FR-CC2 を設定する際は A842 の操作パネルを取付けて対応してください。

4. 3. 端子応答速度の互換性について

FREQROL-A800 シリーズは、FREQROL-A500L シリーズに比べて入出力端子の応答性が良くなっています。使用方法によっては、装置の動作タイミングが変わることがあります。

その場合には、Pr. 289 (本体出力端子フィルタ)、Pr. 699 (入力端子フィルタ) を設定することにより、端子の応答時間を調整することができます。

Pr. 289、Pr. 699 に 5~8ms を目安に設定し、システムに合わせて調整してください。

5. オプション

5. 1. オプションについて

FREQROL-A500L シリーズでオプションを使用されていた場合、FREQROL-A800 シリーズに置き換えますと以下ようになります。

名称		オプション形式	
		FREQROL-A500L の場合	FREQROL-A800 の場合
内蔵形	12ビットデジタル入力	FR-A5AX	FR-A8AX 周波数設定の優先順位は FR-A500L と異なりますので、詳細は取扱説明書を参照ください。
	デジタル出力 増設アナログ出力	FR-A5AY	FR-A8AY
	リレー出力	FR-A5AR	FR-A8AR
	プリント PLG パルス列入力	FR-A5AP、T-PLG50、T-PLG51	FR-A8AP (パルス列入力は本体に内蔵)
	計算機リンク	FR-A5NR	インバータ本体に内蔵 (RS-485 端子、リレー出力 2 点)
	Profibus-DP	FR-A5NP	FR-A8NP
	Device Net	FR-A5ND	FR-A8ND
	CC-Link	FR-A5NC	FR-A8NC
別置形	パラメータユニット	FR-PU04	使用不可。 対応パラメータ FR-PU07
	パラメータユニット接続ケーブル	FR-CB201, 203, 205	流用できます 操作パネル盤面取付時は FR-ADP を準備してください
	EMC 指令対応ノイズフィルタ	SF	インバータ本体に内蔵 (EN61800-3 2nd Environment に対応)
	力率改善用 ACリアクトル	MT-BAL-H	流用できます 新規は FR-HAL-(H)
	ラジオノイズフィルタ	FR-BIF-H	流用できます
	ラインノイズフィルタ	FR-BLF	流用できます
	ブレーキユニット	FR-BU-H、FR-BU2-H	流用できます MT-BU5 は不可。
	抵抗器ユニット FR-HC 形高力率コンパクター	MT-BR5-H FR-HC2-H	流用できます 流用できます
操作・設定箱	周波数計付操作箱	FR-AX	流用できます
	連動設定操作箱	FR-AL	流用できます
	3速設定操作箱	FR-AT	流用できます
	遠隔設定箱	FR-FK	流用できます
	比率設定箱	FR-FH	流用できます
	追従設定箱	FR-FP	流用できます
	主速設定箱	FR-FG	流用できます
	傾斜信号箱	FR-FC	流用できます
	変位検出箱	FR-FD	流用できます
	プリアンプ箱	FR-FA	流用できます
	その他	指速発電機	QVAH-10
変位検出器		YVGC-500W-NS	流用できます
周波数設定器		WA2W 1kΩ	流用できます
周波数計		YM206NRI 1mA	流用できます
目盛校正抵抗器		RV24YN 10kΩ	流用できます

5. 2. FR-A5NC を使用されている場合の置換えについて

FREQROL-A500L シリーズで FR-A5NC (CC-Link 通信オプション) を使用されている場合、FREQROL-A800 シリーズに置き換えますと FR-A5NC は使用できません。FREQROL-A800 シリーズで CC-Link 通信を行う場合は、FR-A8NC を使用してください。

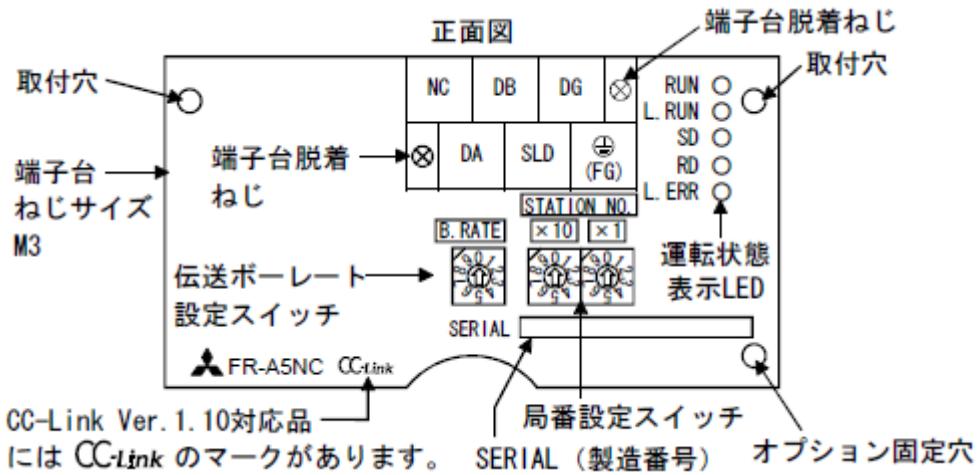
(1) 形状、取付け方法について

形状、取付け方法の相違点は以下のようになります。

項目	FR-A5NC	FR-A8NC	備考
形状	インバータ内蔵オプション形、端子台接続方式	インバータ内蔵オプション形、端子台接続方式	接続方式は同じですが、オプション基板の形状が異なります。
接続端子台	6 端子台 (M3×6mm ネジ)	A6CON-L5P 差し込み配線	端子台形状、配線方法が異なります。端子台は付属しません。
取付け方法	スロット 3 に取付け ※表面カバーを取り付けてから端子台を取付けます	オプションコネクタ 1 に取付け ※端子台の配線を行ってから表面カバーを取付けます	
終端抵抗	シーケンサ付属の終端抵抗	終端抵抗選択スイッチ	
接続ケーブル *1	CC-Link 専用ケーブル	CC-Link 専用ケーブル	

*1：接続ケーブル長に注意してください。

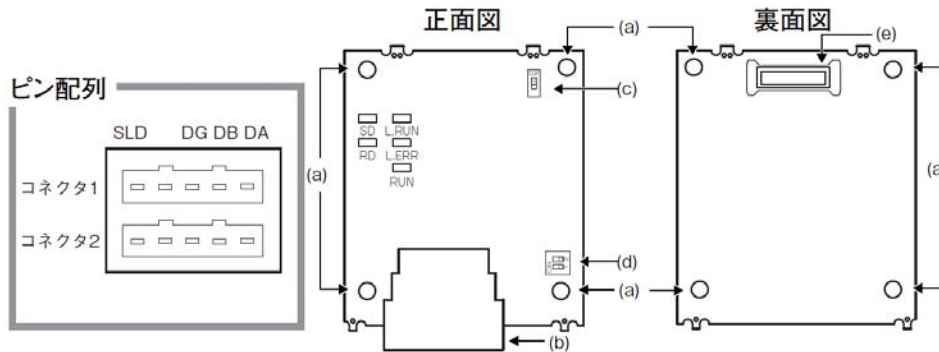
【FR-A5NC の形状】



※FR-A8NC はパラメータ設定で局番の設定と伝送ボーレートの設定を行います。

FR-A5NC の局番設定スイッチと伝送ボーレートスイッチの設定値を参考に読み取り、控えておいてください。

【FR-A8NC の形状】

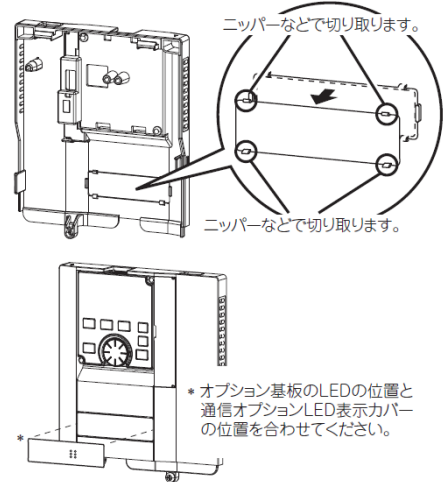


記号	名称	説明
a	取付け穴	ねじでインバータに固定、またはスペーサを取り付けます。
b	CC-Link 通信用ワンタッチコネクタ	CC-Link 通信用コネクタより CC-Link 通信を行うことができます。
c	メーカー設定用スイッチ	メーカー設定用スイッチです。初期状態 (OFF) から変更しないでください
d	終端抵抗選択スイッチ	終端抵抗の抵抗値を選択します
e	コネクタ	インバータのオプションコネクタと接続します

【FR-A8NC の取付け方法】

◆ 通信オプション LED 表示カバーの取り付け

- (1) インバータの表面カバーを取り外してください。(表面カバーの取り外し方については、インバータ本体の取扱説明書(詳細編)の2章を参照してください。)
インバータの表面カバーに、通信オプションの運転状態表示用 LED を表示するためのカバーを取り付けます。
- (2) インバータの表面カバーの裏にあるツメをニッパーなどで切り取って、通信オプション LED 表示カバーを取り付けるための窓を開けます。



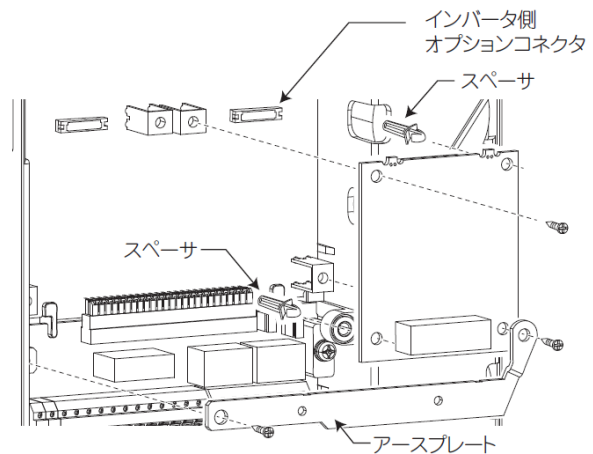
- (3) 表面カバーの表から通信オプション LED 表示カバーをはめ込み、ツメで固定されるまで押し込みます。

NOTE

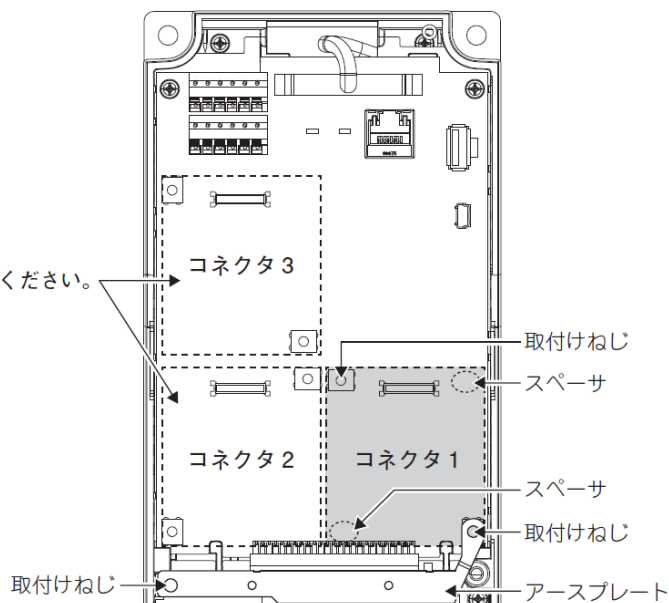
- 保護構造 (JEM1030) は開放形 (IP00) になります。

◆ オプションの取付け

- (1) 取付けねじで固定しない取付け穴 2 箇所 (次ページ参照) にスペーサをはめ込みます。
- (2) 内蔵オプションのコネクタをインバータ本体側コネクタのガイドに合わせて奥まで確実に挿入します。(インバータのオプションコネクタ 1 に取り付けください。)
- (3) 付属の取付けねじで、アースプレートの左側 1 箇所 (次ページ参照) をインバータ本体に確実に固定します。(締付けトルク $0.33\text{N}\cdot\text{m} \sim 0.40\text{N}\cdot\text{m}$)
- (4) 付属の取付けねじで内蔵オプションの左側 1 箇所をインバータ本体に確実に固定し、右側 1 箇所をアースプレートとともにインバータ本体に確実に固定します。(締付けトルク $0.33\text{N}\cdot\text{m} \sim 0.40\text{N}\cdot\text{m}$) ねじ穴が合わない場合は、コネクタが確実に挿入されていない可能性がありますので確認してください。



コネクタ 2 または 3 には取り付けないでください。



ねじとスペーサの取り付け位置

【FR-A8NC の接続ケーブルについて】

CC-Link システムでは、CC-Link 専用ケーブルを使用してください。CC-Link 専用ケーブル以外では、CC-Link システムの性能が保証されません。

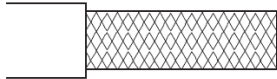
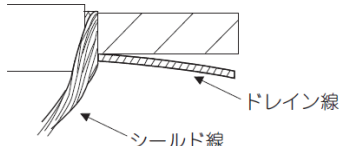
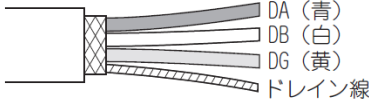
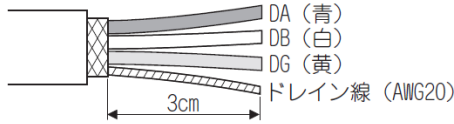
CC-Link 専用ケーブルの仕様、お問合せ先については、CC-Link 協会ホームページを参照してください。

- CC-Link 協会ホームページ <http://www.cc-link.org/>
- 通信用ワンタッチコネクタプラグ（13年7月時点。予告なしに変更される場合があります。）
ケーブルを自作される場合、プラグは下記を参照してください。

形 式	メーカ名
A6CON-L5P	三菱電機（株）
35505-6000-B0M GF	住友スリーエム（株）

(1) ケーブル端末処理

通信用ワンタッチコネクタプラグに挿入する CC-Link 専用ケーブルの端末に対して以下の処理を行ってください。

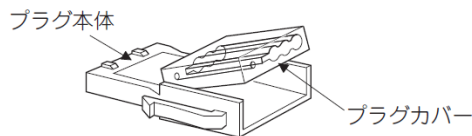
<p>1. 被覆をカットする。</p> 	<p>2. シールド線とドレイン線を分け、シールド線をカットする。</p> 
<p>3. アルミテープ、介在ひもをカットする。</p> 	<p>4. ドレイン線をまっすぐ伸ばし、根元からよりあげる。(3cm を 7 回以上)</p> 

NOTE

- ニッパーなどで切った先端はなるべく丸くしてください。ケーブル挿入時、ケーブル断面が円形でない場合、途中で引っかかり奥まで入れにくい場合があります。
- シールド線の通信用ワンタッチコネクタプラグに挿入されない部分については、必要に応じて絶縁処理を実施してください。

(2) プラグカバーの確認

プラグカバーがプラグ本体に組み込まれているか確認してください。

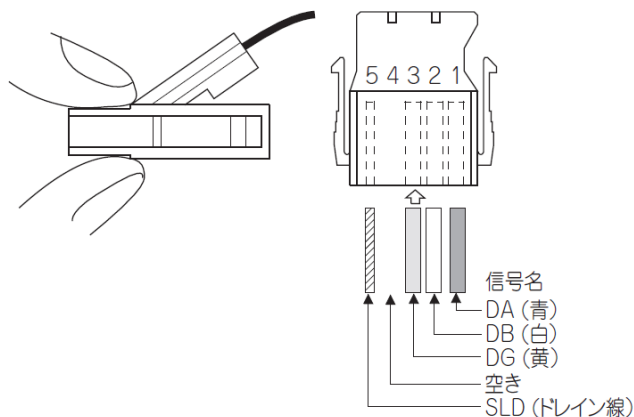


NOTE

- ケーブル挿入前にプラグカバーをプラグ本体に押し込まないでください。一度圧接されたプラグは、再利用することはできません。

(3) ケーブルの挿入

プラグカバーの後方を持ち上げ、プラグ本体に突き当たるまでケーブルを挿入します。各信号用のケーブルは、通信用ワンタッチコネクタプラグへ右図のように挿入します。

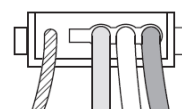


NOTE

- ケーブルの挿入時、ケーブルを奥まで挿入してください。ケーブルが奥まで入っていないと、圧接不良の原因になります。
- ケーブル挿入時、カバー前部より、ケーブルが突き出る場合があります。このときはケーブルの先端がプラグカバーの中に入るように引き戻してください。

(4) プラグカバーの圧接

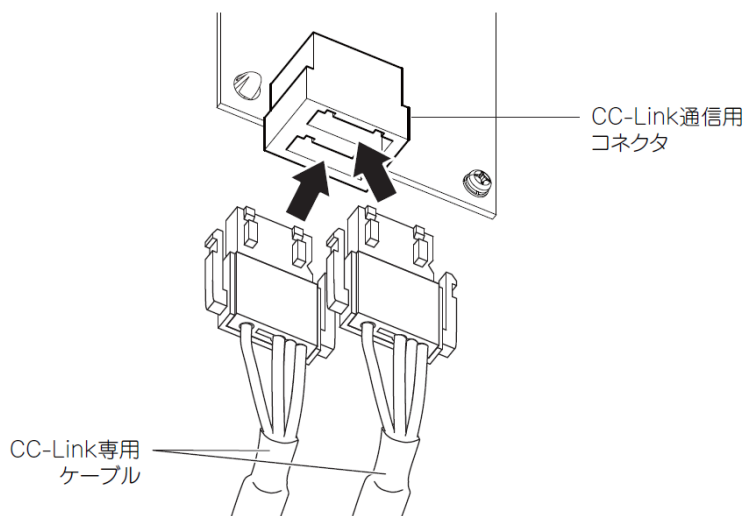
プライヤーなどでプラグカバーをプラグ本体に押し込み圧接します。圧接後、右図のようにプラグカバーがプラグ本体から外れないようにしっかりとはめ込まれていることを確認してください。



NOTE

- 圧接時、プラグカバーとプラグ本体のラッチがかみ合わなく、カバーが浮き上がることがあります。この状態では圧接不十分ですので、プラグカバーがプラグ本体にしっかりとめ込まれるまでカバーを押し込んでください。

CC-Link 専用ケーブルを CC-Link 通信用コネクタに接続します。






NOTE

- 内蔵オプションを取り付けた状態で、インバータ本体のRS-485端子に配線する場合は、ノイズによる誤動作を防ぐために、配線がオプション基板やインバータ本体の基板に触れないようにしてください。

【FR-A8NC の終端抵抗選択スイッチの設定について】

終端局となるインバータ (FR-A8NC) には、終端抵抗選択スイッチの設定をあらかじめ行ってください。
終端抵抗選択スイッチの仕様は下表の通りとなります。

状態	1	2	内容
	OFF	OFF	終端抵抗なし (初期状態)
	ON	OFF	使用しないでください。
	OFF	ON	130Ω (CC-Link Ver.1.00 専用高性能ケーブル使用時の抵抗値です。)
	ON	ON	110Ω